



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月9日
東

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所
 コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経理部長 (氏名)青木 経一郎 (TEL)03(3899)2101
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,539	△1.2	305	16.7	310	16.4	215	21.0
2019年3月期第1四半期	2,571	4.1	261	6.1	266	6.6	178	7.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 314百万円 (84.1%) 2019年3月期第1四半期 170百万円 (5.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	65.64	—
2019年3月期第1四半期	53.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	16,651	12,701	75.1
2019年3月期	16,814	12,643	74.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,504百万円 2019年3月期 12,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注)1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2019年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭
 2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	1.4	570	2.2	580	1.7	400	2.4	116.96
通期	11,100	2.5	1,330	2.4	1,350	2.3	910	4.5	266.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	3,420,000株	2019年3月期	3,420,000株
2020年3月期1Q	157,220株	2019年3月期	117,220株
2020年3月期1Q	3,283,000株	2019年3月期1Q	3,302,823株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移したものの、米中通商問題や英国のEU離脱の動向が世界経済に及ぼす影響に加え、今年10月に予定されている消費税率の引き上げが個人消費に与える影響が懸念されるなど、先行きには不透明感が高まっております。

このような環境のもと当社グループは、蓄積した各種ノウハウをいち早く、医療・介護・福祉等の現場で、多様化する顧客ニーズの状況に即した対応と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計年度の業績は、連結売上高は2,539百万円（前年同四半期比1.2%減）、連結営業利益は305百万円（前年同四半期比16.7%増）、連結経常利益は310百万円（前年同四半期比16.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は215百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①医療用ガス関連事業

当部門は、日帰り手術の増加等医療技術の進歩や医療機関数の減少、DPC（包括医療制度）導入病院の増加などを背景として、医療用酸素ガスの消費量が年々減少傾向にある厳しい事業環境が続きました。このような環境のもと、24時間緊急対応が可能な医療用ガスの供給体制を維持し、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は826百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズに対応すると共に、学会や病院内でのPR活動を通じ、きめの細かい営業活動を継続いたしました。自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTERA（ウエステラ）」と「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）は、確実に市場への浸透と新規顧客の獲得に貢献いたしました。

当部門は、学会への出展や病院内でのPR活動などきめの細かい営業活動を展開し、自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）」は、着実に市場への浸透と新規顧客の獲得を進めることができました。また、市場規模の拡大傾向が顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）も利用者数の増加と伴に好調に推移いたしました。

また、次世代ヘルスケアとして、情報通信機器を用いたさまざまな医療サービスが期待され中、医療従事者と患者様の新しい懸け橋として、また、医師不足や遠隔地等、急速に高まる医療需要への対応として「オンライン診療システム」の提供を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は1,129百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は161百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、施工コストの低減と顧客ニーズに対応した丁寧な施工に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は138百万円（前年同四半期比37.9%減）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比285.3%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動と顧客のニーズに適応した商品のラインナップを強化したことを受け、介護福祉関連商品のレンタル及び販売は堅調に推移いたしました。訪問看護・居宅支援事業所「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）は地域における認知度のアップと顧客ニーズの把握及び運営体制の強化を継続いたしました。

これらの結果、売上高は169百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比54.4%減）となりました。

⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホームと通所介護施設の運営管理をおこなっております。有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）は、24時間看護師在駐、地元医療機関との連携、イベントの開催や地元住民の方々との交流を通じて付加価値サービスの提供と、人材育成の体制をさらに強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、入居者様、ご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）「あしつよ 王子」（東京都北区）は、今後の高齢者人口の増大を視野に、地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に応じ、稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は85百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期セグメント損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は16,651百万円(前連結会計年度末比162百万円減)となりました。これは主に、有形固定資産のその他のうち建設仮勘定が124百万円、投資有価証券が147百万円増加し、受取手形及び売掛金が434百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,950百万円(前連結会計年度末比220百万円減)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が212百万円、未払法人税が111百万円減少し、賞与引当金が59百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は12,701百万円(前連結会計年度末比57百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が116百万円、その他有価証券評価差額金が98百万円増加し、自己株式が157百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,436,383	8,437,643
受取手形及び売掛金	2,233,299	1,798,793
たな卸資産	96,247	136,863
その他	78,988	93,582
貸倒引当金	△4,762	△3,217
流動資産合計	10,840,156	10,463,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	672,491	663,015
土地	2,370,654	2,370,654
その他(純額)	1,225,188	1,351,400
有形固定資産合計	4,268,334	4,385,069
無形固定資産		
投資その他の資産	16,915	16,351
投資有価証券	886,100	1,033,311
その他	809,516	760,552
貸倒引当金	△6,786	△7,525
投資その他の資産合計	1,688,829	1,786,337
固定資産合計	5,974,080	6,187,759
資産合計	16,814,236	16,651,425
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,907,444	1,695,313
未払法人税等	221,763	109,825
賞与引当金	111,400	171,000
その他	981,205	1,020,583
流動負債合計	3,221,813	2,996,722
固定負債		
役員退職慰労引当金	461,610	469,290
その他	487,076	484,395
固定負債合計	948,686	953,685
負債合計	4,170,499	3,950,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	11,494,215	11,610,615
自己株式	△201,450	△359,250
株主資本合計	12,242,653	12,201,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,268	280,112
退職給付に係る調整累計額	24,749	23,055
その他の包括利益累計額合計	206,017	303,167
非支配株主持分	195,066	196,595
純資産合計	12,643,737	12,701,016
負債純資産合計	16,814,236	16,651,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,571,235	2,539,198
売上原価	1,264,222	1,170,117
売上総利益	1,307,012	1,369,080
販売費及び一般管理費	1,045,358	1,063,717
営業利益	261,654	305,363
営業外収益		
受取利息	716	700
受取配当金	3,904	4,470
仕入割引	1,508	820
その他	828	1,162
営業外収益合計	6,957	7,153
営業外費用		
支払利息	1,858	1,986
営業外費用合計	1,858	1,986
経常利益	266,753	310,530
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	18,704
特別利益合計	—	18,704
特別損失		
固定資産売却損	—	421
固定資産除却損	99	0
ゴルフ会員権評価損	—	9,550
特別損失合計	99	9,971
税金等調整前四半期純利益	266,654	319,262
法人税等	87,246	102,288
四半期純利益	179,408	216,974
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,274	1,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,133	215,483

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	179,408	216,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,632	98,980
退職給付に係る調整額	△1,145	△1,792
その他の包括利益合計	△8,777	97,188
四半期包括利益	170,630	314,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,823	312,633
非支配株主に係る四半期包括利益	806	1,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	822,538	1,083,282	223,518	159,697	80,933	2,369,970	201,265	2,571,235
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,440	—	—	19,440	—	19,440
計	822,538	1,083,282	242,958	159,697	80,933	2,389,410	201,265	2,590,676
セグメント利益 又は損失(△)	74,860	133,004	6,205	28,608	△9,734	232,944	28,710	261,654

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	232,944
「その他」の区分の利益	28,710
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	261,654

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	826,861	1,129,098	138,757	169,849	85,626	2,350,193	189,004	2,539,198
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	20,133	—	—	20,133	—	20,133
計	826,861	1,129,098	158,891	169,849	85,626	2,370,326	189,004	2,559,331
セグメント利益 又は損失(△)	77,360	161,509	23,905	13,042	△115	275,702	29,660	305,363

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,702
「その他」の区分の利益	29,660
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	305,363

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。